

韓国環境部プレスリリース 2019年11月5日付

以下、機械翻訳などによる仮訳

野生イノシシのアフリカ豚コレラ防疫のために 363 億ウォンを緊急投入

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?boardMasterId=1&boardId=1082550&menuId=286>

【小見出し】

11月5日の国務会議で目的予備費 255 億ウォン（約 24 億 146 万円）支援議決により地方費 108 億ウォン（約 10 億 1710 万円）とともに計 363 億ウォン（約 34 億 1861 万円）投入イノシシ移動遮断のためのフェンス設置とイノシシを減らすための捕獲活動強化に支出

【本文】

政府は持続的に発生しているイノシシのアフリカ豚コレラの防疫に向けて目的予備費 255 億ウォン（約 24 億 146 万円）を緊急支援することについて 11月5日午前の閣議で議決したと発表した。

※イノシシでのアフリカ豚コレラは今年 10月2日、漣川の非武装地帯で初めて確認された後、今まで、漣川、鉄原、坡州で 20 件が陽性と確定

今回の予備費は感染が憂慮されるイノシシの移動遮断とイノシシ生息密度の低減のための捕獲の強化対策に追加使用され、国費 255 億ウォン、地方費 108 億ウォン（約 10 億 1710 万円）を合わせて総事業費 363 億ウォン（約 34 億 1861 万円）が投入される。

これまで自治体は、イノシシのアフリカ豚コレラの防疫のためフェンスの設置や捕獲枠の購入などに災害基金など独自の財源を使ってきたがアフリカ豚コレラが持続して発生したため、財源不足で困難を強いられている状況だった。

予備費が投入される主な事業は次の通り。

①イノシシのアフリカ豚コレラの拡散遮断 196 億ウォン（約 18 億 4583 万円）

- 感染したイノシシを封じ込めるために、アフリカ豚コレラ発生地点を 2 段で囲む 1~2 次フェンス設置に 109 億ウォン（約 10 億 2650 万円）を投入する。
- 境界地域のイノシシの南下を遮断する東西広域フェンス*（約 193 キロ）の設置に 87 億ウォン（約 8 億 1933 万円）を支出する。

*地形、野生動物誘導フェンスなどの自然遮断を含む総延長約 326 キロ

②イノシシの個体数の低減 167 億ウォン（約 15 億 7275 万円）

- 全国的なイノシシ捕獲活動を奨励するため、1 頭当たり 20 万ウォン（約 1 万 8 千円）の捕獲通報褒賞金を支給。規模は 60 億ウォン（約 5 億 6506 万円）。

- アフリカ豚コレラ発生地域と隣接地域 13 の市郡*のイノシシ低減のための捕獲檻 250 個と捕獲トラップ 4,600 個設置に 30 億ウォン（約 2 億 8253 万円）を投入する。

*江華、金浦、坡州、漣川、鉄原、高陽、楊州、東豆川、抱川、華川、楊口、麟蹄、高城

- イノシシへい死体の焼却、埋却など適正処理に向けて 2 次遮断地域北部 17 市郡*にへい死体処理費 77 億ウォン（約 7 億 2516 万円）を投入する。

*江華、金浦、坡州、漣川、鉄原、高陽、楊州、東豆川、抱川、華川、議政府、南楊州、加平、春川、楊口、麟蹄、高城

チョ・ミョンレ環境部長官は閣議を終えた後、環境部ソウル総合状況室でアフリカ豚コレラ対応状況点検会議（映像）を主宰し、野生イノシシのアフリカ豚コレラ緊急対策推進状況と計画、所属機関別対応状況などの報告を受け、「今回の予備費投入で不足した財源が充当されたことから「野生イノシシアフリカ豚コレラ緊急対策強化策（10.27）」による防疫対策が現場で支障無く移行されることにより、イノシシでのアフリカ豚コレラが早期に終息するよう最善を尽くしてほしい」と呼びかけた。

（以上）